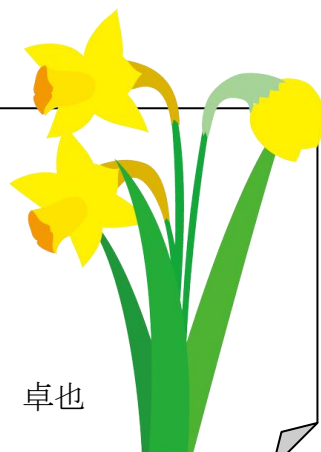


1月

今日の一言

5. 1. 26 校長 渕上 卓也



ほんもの 「本者」にふれる



先週、渕上は「本者」にふれる機会をもつことができました。「本物」ではなく、「本者」です。

木曜日、体操のメダリスト 内村航平さん の講演を拝聴しました。オリンピック4大会に出場し、個人総合2連覇を含む7つのメダルを獲得。また、世界体操選手権でも個人総合での世界最多6連覇を含む19個のメダルを獲得している、我が長崎県の誇るアスリートです。まさに「本者」です。「はっきりとした目標（オリンピックで金メダル）を立て、

考えながら努力を続けてきた。」「好きなことをさせてくれている親や周りの人たちに、感謝している。」「『できない』ではなく、『どうやったらできるようになるかを考える。』ことが大切。」「・・・etc、極めた方のお話の一つ一つが心に突き刺さりました。残念ながら教職員向けの講演会でしたので、子どもたちにも聞かせたかったです。

そして、翌日金曜日には、「パラアスリートの方と5年生との交流」を見ることができました。種目は、「パラバドミントン」。体験試合では、見事なラケットさばきとスピード感あふれる車いすの操作で、子どもたちを圧倒していました。他にも、手で操作できる自動車を見せていただいたり、車いすの体験をさせていただいたりして、学びの多い時間でした。「パラバドミントン競技の普及や理解」「誰もが不便なく幸せに暮らせる社会」の実現をめざし、全国各地飛び回っているとのこと。熱意と情熱！！まさに「本者」でした。

コロナ禍で、ここ数年このような機会を自粛することが多くなり、実際に子どもたちが「会ったり」「見たり」「聞いたり」「体験したり」することが減ってきました。地域にもたくさん素敵な人材がいらっしやいます。「本者」にふれる機会を、徐々に設けていきたいと思います。

＜今日の一句

憧れる

大人の姿が

「本者」です 卓也

